

この章のテーマ

1. 献金の心を知りましょう。それは神様への信頼と感謝と献身の印です。神様に信頼する時に受ける祝福を体験しましょう。
2. 予算を立てる時、会計報告がされる時、神様のみ心を求める気持ちで関心を持ちましょう。きっと感謝することがいっぱいになります。

【献金の心】

パウロ

私はこう考えます。少しでも蒔く者は、少しでも刈り取り、豊かに蒔く者は、豊かに刈り取ります。ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で決めたとおりにしなさい。（Ⅱコリント9章6、7節）

聖書の人々は、収穫があるとその収穫の恵みを神様に感謝いたしました。

例えば、自分の畑になった収穫の内、最初に刈った全体の1/10の束を担いで神様の前に持ってきて献げました。これが私たちの献金の心です。

その時の光景を思い描いてください。

その人は、きっと喜び感謝しつつその束を担いでいることでしょう。

そして神様はそのことを喜び、さらに豊かにその人を祝福してくださることでしょう。

献金は神様に信頼し、神に仕えようとする私たちの感謝のささげものです。

献金とそれに伴う恵みを一緒に体験してまいりましょう。



【献金の時に注意すること】

1) 信仰によって、献金しましょう。

私たちは神様こそ最高の価値あるお方であり、私たちの養い主であると信じています。

私たちは「金^{ひん}が全て」という人生観から解放され、永遠の価値のために喜んで献金を献げる者となりました。信仰によって献金を献げましょう。

2) 心から、献金しましょう。

心から神様にお献げするのですから、生活に差しさわりのない献金・余りものの献金を献げることがないようにしましょう。

3) 教会の働きを担う者として、献金しましょう。

私たちは、毎月、毎年の会計報告に関心をもって見ながら祈り協力いたします。

私たちは献金をすることで教会の財政と働きを支え、神様のみわざに参加するのです。

献金のことになると、他人任せになってしまうことがあるかもしれません。でも例えば、お父さんお母さんが家庭の会計を他人任せにしたら、その家庭はどうなってしまおうでしょうか？

共に担うことによって私たちは、家庭の一員として成長することができるのです。

自覚的に関心を持ちつつ担い合う時、私たちの心は神様と共にあって、前進してゆくことにな

るのではないのでしょうか？

【^{じゅういち}什一献金（約束献金）：十分の一は主のもの】

人は神のものを盗むことができますか。

ところが、あなたがたはわたし(神)のものを盗んでいる。しかも、あなたがたは言う。『どのようにして、私たちはあなたのものを盗んだのでしょうか。』

それは、十分の一と奉納物によってである。あなたがたはのろいを受けている。あなたがたは、わたしのものを盗んでいる。この民全体が盗んでいる。

十分の一をことごとく、宝物倉に携えて来て、わたしの家の食物とせよ。こうしてわたしをためしてみよ。

一万軍の主は仰せられる。一わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。

わたしはあなたがたのために、いなごをしかって、あなたがたの土地の産物を減ぼさないようにし、畑のぶどうの木が不作とならないようにする。

一万軍の主は仰せられる。一すべての国民は、あなたがたをしあわせ者と言うようになる。あなたがたが喜びの地となるからだ。」と万軍の主は仰せられる。

(マラキ3章8－12節)

世界、自然、家庭、職場、健康などはすべて主からの賜物ですね。

神さまから頂いていないものは何一つありません。

そしてこの聖書箇所には、収穫の十分の一はもともと神様のものであり、私たちがささげることができるために、神さまがあらかじめ余裕をもって与えられているのだ、と告げておられます。

ただ、什一献金を律法や決まりとしてとらえないでいただきたいと思います。

あなたが什一献金をしているか、していないかで、誰もあなたを判断することはありません。

しかし、収入の十分の一を献げた方々の多くは、その祝福の意味を体験的に知っておられます。

百分の一でも五分の一でもなく、十分の一を献げる時、誰もがその思いや信仰が試される気持ちになるでしょう。でも実際に十分の一を献げてみると、神様の不思議な養いを体験することがよくあり、「わたしがあなたがたのために、天の窓を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。」との言葉が本当であると確信するようになります。

献金は、律法ではなく、神様への信頼と感謝をもってお献げしましょう。



【その他のいろいろな献金】

感謝献金：緑の牧場では「よかったさがし」をしています。

良かったことを感謝して神様にお献げいたします。

一見、良くないことのように思えることも感謝されて献金される方もおられます。

ある時、「夫婦喧嘩感謝」と感謝献金がささげられたことがありました。

翌週、「夫婦仲直り感謝」と感謝献金がささげられて、ホッとしたことがありました
が、すべてが神様のみ手の中にあるって感謝なことだ、と受け止められているんだなあ
と思われました。

指定献金：献金が使われる時のその目的を指定して献げるものです。

その献金は一旦教会の会計に入られますが、そのまま指定の目的のために支出されます。例えば、「国際飢餓対策機構、難民のため」「世界祈禱日のため」「会堂建築のため」などです。

【Q&Aコーナー】

Q：教会の会計はどのようになっていますか？教えてください。

A：教会の予算と決算報告(質疑・承認)は年に一度の総会で決定いたします。

総会の決議に基づいて活動が行われ、毎月会計執事より会計報告書が配布されます。

その報告書に基づいて聖徒会では、会計についての質問や提案などがなされます。

つまり、神さまの思いを求めながら私たち自身で予算を立て、毎月、明解な報告がなされ、意見や提案がなされつつ、教会の活動も会計も進んでゆきます。

[illegible]

1. 次のうち、正しいと思うものに○印を、まちがいと思われるものに×印をつけてください。 (各5点、40点)

- ☐ 神様は、私にたくさんのものを与えてくださっています。
その上、私を生かし、愛してくださっています。
- ☐ 聖書の人々は、収穫があるとその恵みを神さまに感謝いたしました。
それが献金の感謝の心です。
- ☐ 神さま、愛、信仰、心などの目に見えないことよりも、目に見えるお金や持ち物の方が大切です。
- ☐ 1 / 10 献金は、すべてが神様のものであり、私は神さまによって生かされているということの信仰の告白です。
- ☐ 献げることは、信仰にとって、大切な意味があります。
- ☐ 献金は私が神さまにお献げするものなので、その献金がどのように使われるかは関心をもつ必要があります。
- ☐ 献金によって教会は自立し、さまざまな活動をしています。
- ☐ 教会は定期的に会計報告をする責任があります。

2. 次の文の、□の中に適当と思う字を入れてください。(□に一字ずつ) (各10点、50点)

- a) 「ひとりひとり、いやいやながらでなく、強いられてでもなく、心で□□とおりにしなさい。」 (Ⅱコリント9：7)
- b) 献金は、神さまに信頼し、神に仕えようとする私たちの□□のささげものです。
- c) 献金をすることによって私たちは「□が全て」という人生観から解放され、永遠の価値のために喜んで献金を献げる者となりました。
- d) 「私があなたがたのために、□の□を開き、あふれるばかりの祝福をあなたがたに注ぐかどうかをためしてみよ。」 (マラキ3：10)

e) 緑の牧場キリスト教会の場合、教会の次年度の予算と前年度の決算報告は、

☐ ☐ で決定いたします。総会の決議にもとづいて ☐ ☐ が行なわれ、毎月会計執事より会計報告書が配布されます。その報告書に基づいて質問や提案などがなされます。

3. 次の質問にお答えください。あなたのお考えを書いてください。いくつ書いても良いです。 (10点)

神さまはなぜ、献金を献げるように命じておられるのでしょうか？

神さまのお考えについてどう思われますか？

-
-
-
-
-





ホームページにいきます

<http://midori.church.jp/>

日本バプテスト連盟

緑の牧場キリスト教会（みどりのまきばきりすときょうかい）

広島県東広島市西条町田口2799

牧師 酒井敬仁

マイルーツをされた方、
よかったらご連絡ください。

